



リオデジヤネイロ五輪の馬場馬術競技に出場した原田喜市選手の講演会が、11月30日に川上小学校で開かれました。この講演会は夢に向かって努力することの大切さを学んでもらおうと、川上小のPTAが企画。講演に先立って原田選手が児童や保護者、川上こども園の年長児ら約140人を前に模範演技を披露しました。子どもたちは人馬一体となった華麗な技に目を輝かせて見入り、大きな拍手と歓声を送っていました。

## 川上小学校で原田喜市選手の教育講演会 あきらめなければ夢は叶う



写真上：校庭で児童や園児の前で模範演技を披露する原田さん  
写真左：体育館でオリンピックや努力することの大切さについての話を聞く児童

11月24日、脚本家・倉本聰さんによる講演会「ふるさとに想う」が勝山文化センターで開かれました。脚本と演出に携わった舞台「走る」が、倉本さんの祖父の出身地である勝山で2月に開かれることが決まり、講演会はこれを受けて特別に実現。会場を訪れた約600人の市民らは、真庭にゆかりの深い倉本さんの話に熱心に耳を傾け、講演の最後には大きな拍手を送っていました。（舞台「走る」については26ページに掲載）

### 脚本家・倉本聰さんの特別講演 ふるさとに寄せる想い



多くの来場者を前に話す倉本さん



選手と試合形式のゲームを楽しむ児童

### 人権スポーツふれあい教室 思いやりの心を大切に

11月21日、上水田小学校で人権スポーツふれあい教室が開かれ、児童が岡山湯郷ベルの榎原玄コーチャ、野間文美加選手ら4人と交流しました。教室では「家族や友達を大切に感謝の気持ちを忘れないこと」など、仲間を思いやる気持ちや努力することの大切さを感じることができるとくさんのメッセージが選手たちから送られました。また5・6年生はサッカーボールを使ったゲームで選手たちと交流を深めました。



市政に関する動きの一部を紹介します

## 12/1 地域に暮らす身近な相談相手として

民生委員児童委員への退任感謝状と委嘱状の伝達式が落合総合センターで行われました。退任者84人に、経験年数に応じ厚生労働大臣や県知事の感謝状、委嘱される169人に委嘱状が伝達されました。



## 12/12 犯罪情報などの提供に関する協定締結

警察署の持つ情報を市民に迅速に知らせ、安全安心なまちづくりに生かすことを目的に、真庭市と真庭警察署の告知放送システムを利用した犯罪や事故情報などの発信に関する協定締結式が真庭警察署で行われました。



# 市長室から こんにちは!

## 冬の輝きから1年間の心の輝きへ

有名な「冬の星座」という歌にもあるとおり、冬の夜空に輝く満天の星に感動を覚えます。特に、真庭の空は都会にはない美しさがあります。これは豊かな自然からの贈り物です。

一方、多くの関係者の善意による輝きが真庭にあります。一つは北房コスモス広場に。ハート型やピラミッド型などのLED電球10万個と3000本のペットボトルが燦然と輝いています。もう一つは、国道313号線沿いの「真庭めぐりガーデン」に、高さ7メートルの塔が出現しました。100名を超える子ども達が3000本のペットボトルを使った作った力作です。他にも個人宅などで、趣向を凝らしたイルミネーションが輝いています。このように真庭は、自然からと善意の人たちからと、二種類の素晴らしい輝きを頂いています。

この輝きが冬の夜だけでなく、1年を通じて全ての真庭市民の心と瞳が輝き続けることに繋がっていくことを願っています。



餅つきを楽しむ子どもたち

## 草加部小学校で餅つき 元気いっぱい杵振るっつ

11月25日、地域交流や文化継承を目的に、草加部小学校で餅つきが行われ、草加部小学校の児童と草加部幼稚園の園児、保護者や地域のボランティア合わせて約100人が参加しました。子どもたちは地域の人からつき方を教わったり、一緒に杵を持つてもらったりして、元気なかけ声を出しながら一生懸命餅をついていました。つきたての餅は雑煮やきな粉餅にしてみんなで食べて地域の人の交流を深めました。



提案に対し意見を交わす審査会メンバー

## 未来を担う人応援基金事業審査会 基金の活用に向けて

真庭市は、地域における人材の確保と育成に取り組むため、10億円の「真庭市未来を担う人応援基金」を設置し、その基金の活用を考えるワークショップを開催し、市民からの提案も募集していました。一般46件、ワークショップ10件、高校生82件の計138件の提案をいただき、12月4日には、寄せられた提案について、教育や福祉、産業などに深く関わる方から意見をいただくための「審査会」を初めて開催しました。